

幹細胞を用いた再生医療について

脂肪組織の中にある「間葉系幹細胞」を用いて、治療する再生医療を行っています。

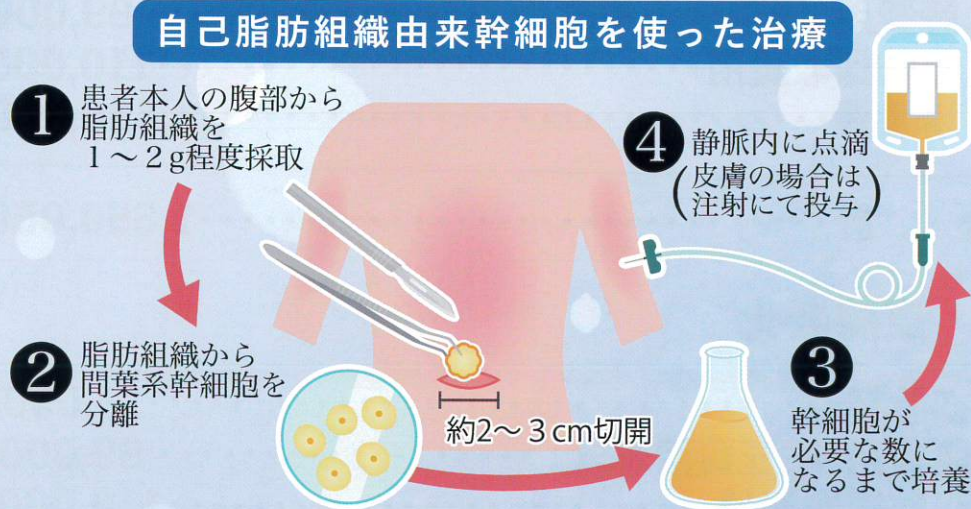
患者様ご自身から脂肪を採取し、その中から幹細胞を分離して、培養し、一定の量になりましたら幹細胞を静脈内または局所に投与することで治療に役立てるものです。

ご自身の細胞を用いるため、拒絶反応がなく、感染症等の問題も少ないと言われています。

対象疾患

- ・脳卒中
- ・認知症
- ・動脈硬化
- ・皮膚老化
(申請中)

治療の流れ



よくある質問

Q:幹細胞の治療に使う脂肪はどのくらい取りますか？

A:脂肪は1～2g程度採取します。

Q:脂肪をとる手術はどのようなものですか、時間はどのくらいかかりますか？

A:局所麻酔下で小切開を加えて、脂肪を取り出します。かかる時間は10～30分ほどです。

Q:副作用はありますか？

A:患者様自身の脂肪から採取した幹細胞を使いますので、基本的に副作用はありません。

Q:脂肪採取から細胞投与までにどのくらいの期間がかかりますか？

A:幹細胞の培養には個人差がございますが、通常、4～6週間ほどで投与する数まで増殖します。

Q:健康保険は使えますか？

A:健康保険適用外の自費診療となります。

治療費用

※金額はすべて税込み表示となります。

★ 認知症・動脈硬化・脳卒中

1. 初診料・・・・・・・・・・・・・・・・・・11,000円
2. 諸費用(検査費用等含)・・・・・・ 99,000円
3. 脂肪採取費用・・・・・・・・・・・・110,000円
4. 培養費・・・・・・・・・・・・・・・・・・1,430,000円

合 計・・・・・・・・・・・・・・・・・・1,650,000円

★ 皮膚老化

1. 初診料・・・・・・・・・・・・・・・・・・11,000円
2. 諸費用(検査費用等含)・・・・・・ 99,000円
3. 脂肪採取費用・・・・・・・・・・・・110,000円
4. 培養費・・・・・・・・・・・・・・・・・・1,100,000円

合 計・・・・・・・・・・・・・・・・・・1,320,000円



治療の難しい **認知症** **脳卒中** などに 幹細胞を用いる再生医療の可能性

有効な治療方法が確立されていない病気「認知症・脳卒中後遺症」。市民講座で行われたアンケートでは「自分がかかりたくない病気は何ですか?」という質問に対して、上位に入るのが「認知症、がん、脳血管疾患」の3つといわれる。また、認知症患者は国内の高齢化とともに増えつつあり、2025年には65歳以上の高齢者の5分の1にあたる700万人に達すると言われている。認知症、脳血管疾患はがんと同じく国民病と言って過言ではない状況だ。

宇陀市の医療機関「グランソール奈良」では今春、厚生労働省の認可を受けて「脳卒中」「認知症」「動脈硬化」の3つの疾患に対して幹細胞を用いた再生医療に取り組んでいる。難治疾患治療の今を同院、未来医療デザインセンター長の中村光利医師に伺った。



もの忘れから認知症へ

「ふとした時に人の名前が出てこない」誰もが経験のある「もの忘れ」も、年齢を重ねると認知症につながることに。そもそも「もの忘れ」は体験したことは覚えていたが部分的に忘れてしまうこと。対して、認知症は体験自体を忘れてしまい記憶全体が抜け落ちて、日常生活に支障をきたす状態となる。認知症を引き起こす原因で最も多いのがアルツハイマー病だ。軽度認知障害(MCI)はその初期段階にあたり、年間に5〜15%の人が軽度認知障害から認知症へ進むとされている。日常生活に支障がなくても、「もの忘れ」がある」と自覚がある人も早期に対応することで認知症へのリスクを抑えることにつながる。

突然起こる脳卒中

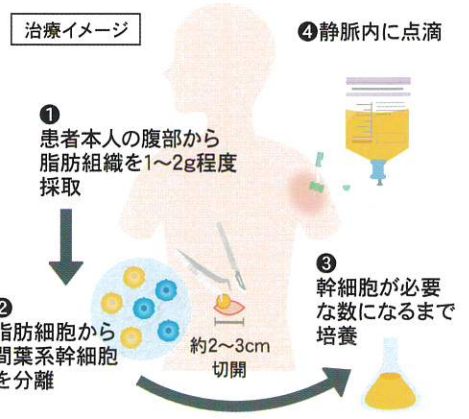
「ついさっきまで元気だったのに」脳卒中は突然おこる脳の血管トラブル。脳梗塞、脳出血、クモ膜下出血の3つに分けられ、脳梗塞が脳卒中全体の約7割を占めている。脳梗塞に対しては投薬による血栓溶解療法とカテーテルで血栓を回収する血栓回収療法の治療が行われ、血栓溶解療法の場合、発症から4時間以内の点滴開始、血栓回収療法では発症から8時間以内の治療開始が必要とされている。治療開始が遅れると後遺症を残すことにつながる。その後遺症への有効な治療法は確立されていないのが現状だ。日頃からの予防、早期発見と早期治療が重要となる。

認知症・脳卒中

これまでの治療

これまでは将来的に認知症や脳卒中につながる恐れのある生活習慣病の改善や予防、認知症では単一の病態のみを標的にした薬物治療など対処療法が行われてきた。しかし複雑な病態生理が混在する疾患のため治療効果には限界があり、多面的な対応が必要になってきている。

難治性疾患に光を 改善をあきらめない!!



傷ついた神経や組織を修復し、再生することを目指す再生医療。患者自身の腹部などの脂肪組織から幹細胞を採取して分離、一定量に培養・活性化させた後に体に戻し、本来自身ももっていた自己修復能力を高め様々な疾患の治療に役立てる。また、自身の細胞を使うため、拒絶反応などの副作用の心配も低いとされる。

「多くの方が認知症や脳卒中の後遺症に悩んでおられますが、いまだ有効な治療法の確立には至っていません。幹細胞治療は障害された一部分だけをターゲットとしたこれまでの治療法とは違い、傷ついた神経や周囲組織の修復・再生を促し、神経ネットワークを再構築するなど、多面的な効果が期待されます。これまで治療効果の乏しい疾患に対する新規治療法として期待されるのではないのでしょうか」と中村光利医師。



グランソール
未来医療デザインセンター
センター長

中村 光利 医師

脳神経外科専門医、脳卒中専門医、認知症予防専門医、認知症専門医、抗加齢専門医、がん治療認定医

自己脂肪組織由来 「幹細胞」を用いた再生医療



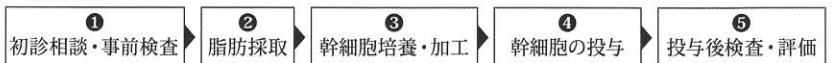
対象疾患

脳卒中

認知症

動脈硬化

治療の流れ



グランソール奈良細胞培養加工施設

クリニックに併設した「細胞培養加工施設」では設立以来18年間、独自の技術で培養加工に取り組み、高品質で安全性の高い幹細胞の投与ができる環境を整えています。

治療費

1,650,000円(税込)
*健康保険適用外の自費診療です

GRANDSOUL NARA
グランソール奈良
奈良県宇陀市菟田野松井8-1

お問い合わせ
資料請求

0745-84-9333

月曜～土曜 8:30～16:30

グランソール奈良 検索



交通アクセス

- 無料送迎バスあり(要予約)
- 名阪国道「針IC」より約30分
- 近鉄大阪線「榛原駅」より約15分